

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立大杉小学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	60.0%	60.0%
令和7年度の目標	60.0%	60.0%
令和6年度の結果	40.5%	33.4%
令和5年度の結果	56.4%	49.3%

令和6年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	47.6%	42.8%
第5学年	35.1%	38.6%
第4学年	27.2%	40.0%
第3学年	21.4%	26.2%



目標達成に向けた取組

	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各教科でめあて、まとめ（振り返り）を毎時間行う。 学級担任は自己申告で国語・算数の授業を年1回実施する。 校内研究「目的に応じて必要な情報を見付けることができる児童の育成～説明的文章の学習を通して～」を通じた授業改善。 校内研究での指導教諭との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数の東京BD診断テストを年間4回実施し、既習内容の定着を確認する。 東京BDの結果を生かした年間15分×35回の朝学習の実施。 2～6年生を対象に、校内九九検定を実施する。1年生は毎時間マス計算に取り組む 校内漢字検定を5月から実施し、漢字の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間3回実施の江戸川っ子study week!でドリルパークを活用する。 日々の宿題の徹底。 大杉っ子家庭ルール週間を年3回実施し、家庭学習、手伝い、SNSの使い方を確認する。 年9回の保護者ボランティアによる読み聞かせや、秋の家族で読書チャレンジの実施。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> 児童が進んで学べる国語科の単元づくりを行う。 タブレット端末やデジタル教材を積極的に活用する。 よむYOMUワークシートの活用 MIMの実施（低学年） 日本語検定の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークで苦手分野の復習を繰り返す行う。 漢字の小テストやまとめテストの直しを確実にを行い、再テストを実施する。 休み時間や放課後の個別指導。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京BD診断テストの成績下位層を対象に、校内放課後補習教室「ぐんぐんタイム」での個別指導を実施。 個人面談で学習習慣や生活習慣について保護者と情報共有。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 国語「授業内容はよく分かる」肯定的回答100% (R6:97.6%) 国語「学習が好き」肯定的回答80%以上 (R6:63.4%) 算数「授業内容はよく分かる」肯定的回答100% (R6:90.3%) 算数「学習が好き」肯定的回答80%以上 (R6:68.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> 東京BD令和8年度6年生平均正答率 70%以上 (現5年生53.7%) 令和7年度末6年生60%以上、学校平均60%以上 (令和6年度末6年生56.7%、学校全体55.08%) 全国学力学習状況調査令和8年度国語算数C・D層50%以下。 区学力定着度調査7月、1月70%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度6年生の宿題提出率100% (現5年生90%)